

アマモが消えている？

今、浜名湖の「アマモ」になにがおきているの？

今、わたしたちの大好きな浜名湖に異変が起きています。生き物たちが卵を産み、小さな魚たちがすみかにもしている「アマモ」という海草が急激に減ってしまいました。浜名湖の特産品であるアサリやエビ、カニが年々獲れなくなってきているのも「アマモ」の減少と関係があるのではないかとされています。

減少の原因

アマモが減ってしまった原因は、はっきり分かっていません。
様々な原因があると考えられています

その1

地球温暖化によって、海水温が上昇したため、アマモの生育に適さない環境になったから。

その2

大型の台風が増えて、海底の地形が変わったり、流されてしまうから。

その3

海草を食べる魚やウニなどの生き物が増えすぎて、食べられてしまったから。こんなに生態系のバランスが崩れてしまう現象を「食害(しょくがい)」と呼んでいます。

その4

浜名湖の沿岸域の開発が進み、アマモが成育しやすい場所が減ってしまったから。

その5

水質が悪化したり、海水の透明度が悪化したことで、光合成ができなくなったから。

アマモ場の移り変わり

かつて浜名湖のどこにでも群生していたアマモは、海水浴客の足に絡みついたり、船のスクリューに絡まって船を止めてしまったりして、「邪魔もの」扱いされていました。ちぎれて潮で流れられたアマモが浜辺に漂着し、高いお金をかけて処分しなくてはならない場面もあったそうです。

ところが今では…

漁師さんのお話→

「昔は一面にアマモが広がっていたんだよ。船のスクリューにひっかかるほどで、いったん船を止めて、アマモを外していたんだ。それが私の感覚では、100分の1ぐらいの面積になってしまったなあ〜。」

2013年



2021年



2023年



アマモ場が減少したまま、なかなか復活しないのはなぜ！？

浜名湖ワンダーレイク・プロジェクト有識者委員会が立てた仮説

仮説①

DNAが弱い説

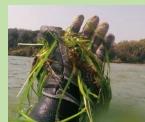
現在浜名湖で採取できるアマモのタネは、発芽実験での発芽率がなんと約7%！と非常に低い。近いエリアでの交配が進み、繁殖力の弱いDNAのアマモばかりになってしまったのではないかな？



仮説②

潮流が速い説

浜名湖にアマモのタネを撒いたり、苗を植えたりする活動がすでに5年以上も続いている。しかし、なかなかアマモが増えない理由として、浜名湖を流れる潮流が速すぎて、海底に根付く前に流されてしまっているからではないかな？



みんなで考えよう！

「アマモ場」が減ってしまった原因を取り除くため、みんなができることはなんだろう？

LOVEるっ! 浜松

ICHINO
UMI
PROJECT